

令和3年度 自己評価及び学校関係者評価書

42001
市立札幌新川高等学校

1 本年度の重点

1. 個に応じた教育を推進し、確かな学力の定着を図る。
2. キャリア教育を推進し、自ら意欲的に進路実現を目指す生徒の育成を図る。
3. 国際理解教育を推進し、国際性豊かな生徒の育成を図る。
4. 学習と部活動を両立させ、心身ともに調和のとれた生徒の育成を図る。

2 本年度の経営方針

1. 校内組織の連携強化を図り、円滑な学校運営に努める。
2. 魅力ある、信頼される学校づくりのために協働して学校運営に努める。
3. 進学型キャリア教育の充実・発展のため学校環境や条件整備に努める。
4. 生徒の「学ぶ力」を育成するため、主体的・対話的で深い学びの視点から授業の工夫に努める。
5. 家庭・地域への情報発信及び意見の収集を積極的に図り、学校と家庭・地域社会が一体となった生徒支援に努める。

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
全体	新川高校での高校生活は、全般的に満足できるものである。	A	新型コロナウイルス感染症に制限を受けながら、その中で最善は尽くしたと、生徒・保護者・教職員とも感じることができた令和3年であったと総括できる。今後も学校行事や生徒会活動が、生徒にとってより充実するように取り組む。また、コロナ禍であっても授業改善に努めていく。	B	A
	新川高校は、教育方針(教育目標)を日々の教育に生かしている。	B	新川高校のすべての教育活動が結びつく、スクール・ミッション及びGP(グアダジュエーションポリシー)・CP(カリキュラムポリシー)・AP(アドミッションポリシー)を制定した。		
	学校教育目標を達成するために、学校の特色を踏まえた教育課程を編成している。	B	新川高校のスクール・ミッションを達成するため、CP(カリキュラムポリシー)を基に新教育課程を編成した。来年度以降、新教育課程を力強く実践していく。		
学校関係者評価者による意見		・新型コロナウイルスは、数カ月程度で感染力、重症化の状況等が変化しているので、国の取り扱いも変わるものと考えます。公共交通機関を使い通学する生徒さんが多いと思いますので、学校内だけではなく、通学時・ご家庭内でもご注意いただき、生徒の皆さんにも教育目標の達成に向け頑張ってくださいと思います。 ・全体においては、各セクションごと、コンセプトに素晴らしいと評価できる。			
学習指導	授業は、内容が充実しており生徒は満足している。	B	出席停止、学級閉鎖等で授業ができない期間をICTなどを有効活動して授業保証を進めていく。	B	A
	生徒の家庭学習時間(予習・復習)は十分確保され、授業に臨むことができている。	C	出席停止、学級閉鎖等で授業ができない期間を利用して自己調整力、粘り強く取り組み力をつけていく。		
学校関係者評価者による意見		・私が高校生の頃とかなり意識が違っているとありますが、自宅での予習・復習が大事だと思います。学生の頃より社会に出てからの方が勉強(努力)しなくてはならないことがありますので、生徒の皆さんには学習習慣をつけていただきたいです。 ・コロナ禍ICT等の活用、自学意識の向上に今後も、期待したい。			
生徒指導	全教職員が共通理解のもと生徒指導にあたっている。	B	年度初めの職員会議や随時発行される「生徒指導部だより」などを通して、教職員内でも共通理解を図りながら指導するよう取り組む。	A	A
	生徒指導は、正しい礼儀や規律ある生活が送れるよう指導されている。	A	様々な活動(ボランティア等)を通じて、外部の方からも高評価を頂いている。さらに、卒業後にも社会人として自立できる生徒になれるよう指導や相談活動を充実させていく。		
	自転車マナー指導・登下校指導等、交通安全指導が適切に行われている。	A	昨年度に比べて自転車事故は減少しているが、並走やイヤフォンをしながらの自転車走行などのご指摘もあり、継続的に指導を行っている。		
学校関係者評価者による意見		・生活習慣は子どもの頃(若いとき)に身に付きます。ボランティア活動を積極的にを行うように育成願います。将来的に町内会役員・民生委員等になっていただけたらうれしいです。 ・卒業後の人間性について、十分な配慮がされている。			
評価基準 [自己評価] A-十分達成されている B-ほぼ達成されている C-達成されているが課題もある D-課題が多い ※注 評価は総合評価の決定方法に準じ、1. そう思う 2.どちらかといえばそう思う の合計平均が A-85%以上 B-70%以上 C-50%以上 D-50%未満 三者(教職員・保護者・生徒) 教(教職員) 保(保護者) 生(生徒) による評価である。 [学校関係者評価] A-適切である B-ほぼ適切である C-あまり適切でない D-不適切					